

〈発表内容〉

・消防副士長 内田護文 『消防 YouTuber として』

コロナ禍で防災訓練などはやりたくてもできない。そんな時、学生の会話を耳にした。「滋賀県は地震が起こらない」。しかし、現実は違うことを伝えることもできない。

学生たちは YouTube を見ながら会話をしている。当消防本部の YouTube チャンネルを使い、地域の防災力を向上させるため出演を志願。マジメな消防の資料動画が完成したが、興味を持ってもらい、見てもらうことが必要。

「おもしろさ、わかりやすさ、親近感。」をコンセプトに新たに動画を作成。動画は高評価。

消防 YouTuber として、防災の大切さを東近江から世界の人々へ配信していくと発表した。

・消防士 加々爪一起 『守りたいモノがある』

年を経るごとに甚大化、複雑多様化している日本、それに合わせて我々消防が使用する資器材も次々と新しい物が開発され導入されている。

全ての資器材に精通するため訓練をするが、各資器材と接する時間は少なく、故障が後を絶たないことから、マイスター制度の導入を提案します。

この制度により、資器材取り扱いのエキスパートの育成と、故障時に私たちの手で修繕できるようになりたい。

資器材の諸元性能を理解し、その能力を 100%発揮して災害対応するとともに、資器材を未来へ繋いでいきたいと発表した。